



絆

校長 窪田 俊介

先月、私の住む町内では3年ぶりに秋祭りの獅子舞が開催されました。この獅子舞では、青年団が獅子役を、そして小・中学生が天狗役を担当することになっています。特に、祭りのフィナーレを飾る「獅子殺し」の演目では、天狗役の中の最年長者が「大天狗」として獅子を殺す役目を演じ、祭りを締めくくります。今年の「大天狗」は、中学生である私の息子が任されることになりましたが、この3年間は祭りが開催されなかったこともあり、演技の細かな部分については忘れてしまっていることが多くありました。それでも、毎日2時間以上にわたる練習の中で、天狗OBの方や青年団から手取り足取り動きを丁寧に指導してもらったおかげで、本番ではなんとか大役を果たすことができました。

獅子舞に関わる町内の多くの人たちが、互いに意見を出し合い、よりよい演技を目指していく過程の中で、仲間としての強い一体感が生まれるとともに、祭り終了後は達成感と深い絆を感じることもできる充実した時間となりました。

さて、本校では、10月22日に学習発表会を開催します。今年度より、新型コロナウイルス対策が緩和され、学習発表会の内容もいろいろと検討しました。各学年のステージ発表以外にも、開会式や閉会式の実施、各学年意見発表、全校児童による歌等、子供たち全員で作り上げる学習発表会を目指していきます。

また、児童会が中心となり設定した学習発表会のテーマ「深まる絆！木津っ子みんなて協力し、心に残る学習発表会にしよう」の実現を目指し、一人一人が全力で自分の役割を果たすとともに、互いのがんばりを認め合い、絆を深めることのできる木津っ子であってほしいと願っています。

ぜひ、当日はお子様の活躍の様子をご覧いただき、そのがんばりをご家庭で褒めていただければと思います。

後期児童会発足式 10/3

後期の児童会発足式が開かれ、各委員長の挨拶や活動内容の紹介、各学級代表の紹介等が行われました。児童会のスローガンである「明るさチャレンジ やさしさチャレンジ 考えて行動する木津っ子」の実現に向けて、全校児童で意識を高めました。後期も各委員長を中心として、知恵を出し合い主体的な活動が実践されることを期待しています。



木津っ子支援ネットワーク感謝の集い 10/17

毎日、児童の登下校の様子を見守ってくださっている木津っ子支援ネットワークの方への感謝の気持ちを伝えるために、感謝の集いを開催しました。児童代表による感謝の言葉の他、5年生による合唱「COSMOS」と合奏「シング・シング・シング」を披露しました。

